

(19)日本国特許庁 ( J P )

(12) 公開特許公報 ( A )

(11)特許出願公開番号

特開平8-44386

(43)公開日 平成8年(1996)2月16日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 1 0 L 3/00	5 1 3 A	B		

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 14 頁)

(21)出願番号	特願平7-162697	(71)出願人	590005003 アルカテル・エヌ・プイ ALCATEL NEAMLOZE VE NNOOTSHAP オランダ国、2288 ベーハー・レイスウェ イク・ツェーハー、ブルヘメスター・エ ルセンラーン 170
(22)出願日	平成7年(1995)6月28日	(72)発明者	トーマス・ヘルマン ドイツ連邦共和国、71723 グロスボッ トパール、バンネンシュトラッセ 1
(31)優先権主張番号	P 4 4 2 2 5 4 5 . 8	(72)発明者	グレゴール・ロツィナ ドイツ連邦共和国、70191 シュツットガ ルト、ヒルデブランドシュトラッセ 61
(32)優先日	1994年6月28日	(74)代理人	弁理士 鈴江 武彦
(33)優先権主張国	ドイツ ( D E )		

(54)【発明の名称】 単語認識のための始点、終点の検出方法

(57)【要約】

【目的】 本発明は、周囲雑音に関係なくスピーチの単語の始点、終点を検出する方法を提供することを目的とする。

【構成】 スピーチ信号がブロックに分割され、特徴ベクトルが信号エネルギーの関数とブロックの線形予測コーディングLPCのセプストラム係数と平均LPCのセプストラム係数との間の二次偏差の関数との少なくとも2つの特徴から形成され、平均特徴ベクトルが、無スピーチインターバルを含むブロックの予め定められた数Iから計算され、新しい無スピーチのインターバルが発生したときに更新され、特徴ベクトルと平均特徴ベクトルが、閾値と比較して、無スピーチインターバルとスピーチが存在するか否かの情報を提供する検査量uを決定するために使用されて始点及び終点を検出することを特徴とする。

